



を一度お試しいただきたい。それでも電波が届かない場合は他市の例から、FM専用の屋外アンテナが有効と聞いており、西浦公民館に試験的に設置する準備をしている。

**竹内滋泰(市政クラブ)**

**防災・減災について**

**問** 電柱等の標高表示の案内板設置の進捗は。

**答** 中部電力と話をし、電柱に標高及び避難所への矢印を表示する準備をしている。スポンサー企業を募り、市内100カ所程度

に設置したいと考えている。市内の災害時生活用水協力井戸の告知方法について伺う。

**答** 協力井戸の申し出者には指定標識をつけていただくことで告知している。

**有害鳥獣対策について**

**問** 市としての今後の取り組みについて伺う。

**答** 被害を受けた営農の方を借りて対策事業を行った。家庭菜園の方にも被害が出ているので対策を検討していく。また、被害対策のパフレット作成については研究を行っている。

**稲吉郭哲(市政クラブ)**

**蒲郡市民病院の医師増員について**

**問** 田原市では医師確保のための修学資金貸与制度を創設した。当市でも採用の考えについて伺う。

**答** 現在、当市の看護師確保では効果的に制度活

蒲郡市民病院



用がされていると思う。ドクターに対しては一般的ではないが、医局との問題もクリアして条件提示をし、早めに制度を創設し活用していきたいと思っている。

**環境省提示のレアメタル再利用について**

**問** 環境省が電子機器45品目のリサイクル料金を

消費者から徴収しないことを提示し、将来の法制化が予想される。市の基本的な考えはどのようなか。

**答** 現在は市内にレアメタルの精錬業者もなく、

まだ制度も確立されていない状態である。情報収集をしながら検討をしていこうと考えている。

**大場康議(市政クラブ)**

**小中学校適正規模・適正配置検討委員会について**

**問** どのような意見書を市長へ提出するのか。

**答** 委員会では、適正規模は、2学級以上で小学校全学年35人学級が望ましいとの意見で集約された。適正配置については、当面は現状のままでもやむを得ないという意見や、統廃合や小中一貫校についての研究・調査を続けるべきとの意見があり、また学区と総代区が違うという問題は、地域や行政で議論を積み重ねる必要があるとされた。

**競艇場施設改善における立体駐車場建設について**

**問** 採算等費用において、どう考えているか。

**答** 立体駐車場本体及び外溝工事で約6億円を予

蒲郡競艇場



定している。設置しない場合、防風壁で1億5千万円、照明塔に2億円の費用がかかる。利便の向上や駐車場借地料の削減にもなる。

**青山義明(無所属の会)**

**人間ドック事業について**

**問** 人間ドック事業の今後の方向性を伺う。

**答** 当面は現状の事業運営で収入増、経費削減により一層の改善を図っていく方法で進めていきたい。